

ギュンター・M・ツィーグラー著 『凸多面体の数学』
(シュプリンガー・フェアラーク東京, 八森・岡本訳)

正誤表 (2004 年 11 月 1 日現在)

- 3 ページ 下から 4 行目：
 $x = \lambda_0 x_0 + \cdots + \lambda_n x_n \rightarrow x = \lambda_1 x_1 + \cdots + \lambda_n x_n$ (原著の誤植、2004.11)
- 6 ページ 上から 2 行目：
ただし、点集合が「有界である」とは、その集合が…
 $\rightarrow$ ただし、「有界である」とは、この集合が… (誤訳、2004.04)
(注：ここでの「有界」の定義は、 $\mathcal{H}$ -多面集合が凸集合だから使える定義であり、点集合一般に通用するかのように記述してしまっているのは訳者の選語ミス。)
- 149 ページ 下から 6 行目：
Tommasia $\rightarrow$ Tammasia (原著の誤植、2003.03)
- ~~243 ページ~~ 232 ページ 上から 2 行目：
 $P \subseteq \mathbb{R}^p$ を d -多面体とし $\rightarrow p$ -多面体とし (翻訳時の誤植、2004.02)
- 319 ページ 下から 6 行目：
Stanley[491] $\rightarrow$ Stanley[494] (原著の誤植、2003.09)
- 329 ページ 上から 8 行目：
3-球面 $\rightarrow$ 3-球体 (翻訳時の誤植、2004.04)
- 334 ページ 下から 4 行目：
一般化 h -ベクトルと等価 $\rightarrow$ 旗ベクトルと等価 (原著の誤植、2003.09)